



「変革2027を踏まえた新たなジョブローテーションの実施について」 提案を受ける！その1

【実施項目と主な議論内容】

○新たなジョブローテーションの実施

(1) 車掌試験、運転士試験を廃止する。今後の乗務員への異動は任用の基準に則り取り扱う。

(組合)

- ・育児・介護などのライフイベントに、どのように柔軟な対応をするのかイメージつかない。
- ・安全・サービスレベルを向上というのが大前提だ。

(会社)

- ・現在のライフサイクルは一律的な運用になっている。個々の社員の事情、職場の状況など臨機応変に柔軟に対応しづらい。
- ・任用の基準で今後運用していく。社員の希望も勘案するし、要員需給も勘案する。

(2) 車掌を経ずに運転士になることを可能とする。

- ・駅、車掌、運転士の役割を理解して鉄道の安全を向上させてきた認識だ！
- ・車掌の重要性は薄くなったという認識でこのようなサイクルにしたのか。
- ・駅、車掌、運転士と経験している指令員は指令の中で強みを発揮する。

- ・ワンマンが多い乗務員区や限りなく車掌が乗務する列車が少なかったりすると首都圏では条件が違う。駅社員が直接運転士になることもある。
- ・人材不足で採用は厳しい。ワンマン運転の拡大や、ドライバーレスもある。今のうちからジョブローテーションの運用は柔軟なものにしていく。

(3) 車掌及び運転士の職名を「乗務係」「乗務指導係」「乗務主任」「乗務主務」に統一する。

- ・運転士と車掌の職名を統一することは、運転士は運転士だけではなくることが目指されているのか。

- ・職名を一緒にして車掌と運転士は担務という扱いにする。
- ・職名が変わることに伴って運転士・車掌の仕事が変わるものはない。

(4) 駅配属の中途採用社員が乗務員へ異動することを可能とする。

- ・社会人採用はこれまで営業職に残っていたことを変更していく目的と理由は何か。

- ・社会人採用は今後乗務員への道を拓く。社会人採用に限らず、3年目以降も駅に残る人もいるし、多様な経験をして駅に戻る人もいる。営業部門を全体で育てることが重要だ。

(5) 同一担務の従事期間が最長でも概ね10年超えないように異動又は担務変更する。

- ・これまでも職場の中で経験則により安全確保をしてきた。経験労働あつての安全確保に対する考え方が変わったのか。
- ・運転区所から運転区所の異動も含むのか。
- ・DCやEL転換は担務変更になるのか。

- ・経験値を積み上げれば色々な知識が身に付く。色々な仕事を経験しても同様。これまでと変わらない。
- ・区所間の異動もある。担務変更か異動もある。
- ・同区所での車種転換は含まない。